

経営方針

「青森市自動車運送事業経営戦略(2021～2030)」に掲げる4つの経営方針のもと、各種事業を推進する。

1 高い安全意識を持ち、安全・安心なサービスを提供します

2 常に問題意識を持ち、サービスの向上に取り組みます

3 持続可能な経営基盤の構築を目指します

4 公共交通機関として、まちづくりと連携しながら取組を進めます

経営戦略における取組(事業の概要)

1 安全で信頼のあるサービスの提供

- (1) 安全運行の推進
交通事業者の最大の使命である輸送の安全確保に向けて、安全運転の徹底を図ります。
○本年度事業内容 ・ドライブレコーダーに記録された映像等を活用した安全対策の強化等
- (2) バリアフリー化の推進
高齢化やノーマライゼーションの進展にあわせ、ハード・ソフト一体となったバリアフリー化をより一層推進します。
○本年度事業内容 ・ノンステップバスの購入(10両)
※低床バスの導入割合…97.8%〔令和5年度末見込〕
○本年度事業費 194,370千円
- (3) 危機管理対応の強化
リスクの多様化に対応し、乗客・乗務員の安全確保と事業継続を図るため、危機管理対応の強化を図ります。
○本年度事業内容 ・洪水を想定した東部営業所の浸水対策訓練の実施等
- (4) 定時性の確保
季節等による交通環境の変化に対応し、定時性の確保に努めます。
○本年度事業内容 ・2シーズン制ダイヤの実施等 (夏ダイヤ〔平日〕：136ダイヤ、871便)
- (5) バス待ち・乗車環境の向上
お客様がより快適な環境で安心してバスを利用できるよう、利用しやすい環境整備に努めます。
○本年度事業内容 ・バス待合所整備(県庁前停留所)、バス停留所整備(野木和団地停留所)等

3 効率的で持続性のある経営基盤の構築

- (1) 経費の抑制
厳しい経営環境を踏まえ、一層の経営効率化を図るため、経費の抑制に努めます。
○本年度事業内容 ・正職員の退職者不補充の継続、委託運行の推進等
- (2) 広告事業等の強化
安定した収入の確保を図るため、広告収入などの運送収益以外の収入の増加を図ります。
○本年度事業内容 ・運賃表示器を活用した「デジタルサイネージ広告」の導入等
- (3) 民間活力の活用推進
公共交通の維持と効率的で持続性のある経営基盤の構築のために、民間活力の活用を推進します。
○本年度事業内容 ・地域の民間交通事業者との連携による委託運行の推進等
※委託ダイヤ数 夏ダイヤ：〔平日〕33ダイヤ／〔土日祝〕30ダイヤ
- (4) 人材確保策の強化
安定した運行体制を維持していくため、人材確保策の強化を図ります。
○本年度事業内容 ・短時間勤務の会計年度任用職員の採用等、多様な雇用形態の実施等



2 ニーズに対応したサービスの提供

- (1) 利用状況に応じたダイヤ編成
お客様の利用状況や多様なニーズの把握に努め、より利便性が高く効率的な運行を実施するため運行の適正化を図ります。
○本年度事業内容 ・青森駅西口駅前広場への乗り入れによる北部・西部方面への利便性の高いダイヤ編成(令和5年度夏ダイヤから)
- (2) ICTを活用したサービス向上
お客様がより安心して、便利にバスを利用できるよう、ICT(情報通信技術)の活用によるサービスの利便性向上を図ります。
○本年度事業内容 ・スマートフォン等を使用してバスの位置や遅延等が把握できる「バスロケーションシステム」の本格運用と、利用者が利用したい便のみを表示できるスマートフォン用時刻表「あおり マイ時刻表」等、リアルタイムでバスの運行状況を提供するサービスの開始(令和5年度夏ダイヤから)
- (3) 料金のあり方の検討
新たなサービスの導入を進めるとともに、運賃制度の見直しなど、料金のあり方について検討します。
○本年度事業内容 ・「AOPASS」の利用促進を図るため、多様なニーズに対応したサービスの検討等

4 市民に支えられる社会性の向上

- (1) まちづくり施策との連動
公営の交通事業者としての役割を踏まえ、まちづくり施策との連携に努めます。
○本年度事業内容 ・「AOPASS」を活用した福祉施策と連携したサービスの実施等
- (2) 利用者ニーズの把握・喚起
お客様に便利で利用しやすいサービスを提供するため、利用者ニーズの把握・喚起に努めます。
○本年度事業内容 ・ホームページやSNS等多様な媒体を活用した情報発信等
- (3) モビリティマネジメントの推進
市営バスを利用していただくため、バス利用への自発的な行動変化を促すモビリティマネジメントを推進します。
○本年度事業内容 ・高齢者を対象とした「AOPASS」「バスロケーションシステム」「あおり マイ時刻表」等ICTを活用したサービスを体験できる利用教室の開催等